

TRACE32®: ARM®コア用 Windows 10 のデバッグサポートを開始

2016年2月 ヘーエンキルヒエン・ジーガーツブルン

マイクロプロセッサ開発ツールのトップメーカーであるローターバッハ社は、Windows 標準 OS ファミリのサポートを拡張したことを発表しました。2015年4月以来、TRACE32®では、各種 x86/x64 デバイス向けの Windows 認識デバッグ機能を提供して参りましたが、この度新たに、ARM®アーキテクチャコアで動作する Windows10 認識デバッグのサポートが追加されました。

JTAG インターフェースを介した「ストップモードデバッグ」を利用することで、ユーザは全てのシステムリソースにアクセスすることができます。ターゲットをデバッグするにあたり、特殊なスタブ、インターフェース、ドライバの何れも必要としません。システム全体が「ハングアップ」したとしても、デバッグは全てのシステムリソースを表示することができます。ユーザは、実行中のプロセス、スレッド、ライブラリだけでなく、カーネルモジュールやドライバまで、いつでも調べることが可能です。

拡張された MMU サポート機能により、TRACE32 は仮想アドレス空間全体にアクセスできます。開発者は、どのプロセスのコンテキストにも切り替え、そのステータスをいつでも確認できます。これにより、ドライバや複数のアプリケーションの同時デバッグが可能となります。

ARM 用 Windows 10 デバッグサポートは、すぐにご利用いただけます。

LAUTERBACH, TRACE32 µTrace and other LAUTERBACH products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of LAUTERBACH. All other product and service names mentioned are the trademarks of their respective companies.